

special thanks!!

MUTA syacho
hiper rescue TANAKA

Mr.WATARAI
KIKUCHI family
kojochō TANAKA
LASER MAN
SUGER
SYAMI

TOA kenzai
OKAMOTO kogyo
maru TOMITA
MIYAMAE spa

SEIEI
MIYAMAE
YUBARI

八8oo

designed by
本居 実父 40回 千葉

大正 15 年の完成以来 65 年間にわたり空知全域の炭鉱に電気を送っていた
旧清水沢火力発電所をメイン会場にアートの力で炭鉱の記憶を掘り起こします。

夕張清水沢 アートプロジェクト

2011
9.17(土) → 10.16(日)

※土日祝日のみ 13 日間
公開時間 10:00 - 17:00 最終入場 16:30

夕張清水沢アートプロジェクト 会場案内マップ

4



夕張清水沢アートプロジェクト 見所解説マップ



北炭清水沢鉱事務所

1947(昭和22)年開鉱。1952(昭和27)年に遠幌鉱と合併。生産量は平均して年産40万トンほど、従業員数は1,000人弱の中堅炭鉱。1980(昭和55)年に終掘のため閉山。事務所建物と安全灯室が現存。



北炭清水沢鉱坑口

運搬卸斜坑、ベルト卸斜坑、立坑の跡が現存。7,800カロリーの原料炭を生産し、一部は火力発電所にも送られ、発電用に使われた。

※入り口は企業局駐車場です



清水沢ダム・水力発電所

昭和15年に北炭により建設。1994(平成6)年に北海道へ譲渡。現在は二股発電所の逆調整池としての利用や農業用水の確保にも利用され、3,400キロワットの発電を行っている。



北炭清水沢発電所

1926(大正15)年に完成した北炭の自家発電所。わが国有数と言われ、5台の発電機で最大74,500キロワットを出力していた。遠くは幌内・歌志内まで送電していた。1991(平成3)年廃止。



北炭清水沢鉱選炭機跡

昭和29年の完成当初は「東洋一」とも呼ばれた。製品として出荷する精炭と不要な岩石(ズリ)に分け、精炭は専用線で清水沢駅へ輸送され、ズリはズリ山に積み上げられた。



JR清水沢駅

1897(明治30)年の開業。1911(明治44)年に大夕張鉄道が開通すると、夕張本町方面と大夕張方面との鉄道・道路の分岐点として賑わった。7番線まであった広い構内の面影が濃く残る。

[石炭の道]を巡るルートは、1から5までです。



清水沢ズリ山

清水沢炭鉱のズリ山は3つあり、このズリ山が最も大きく、高低差は60m程。頂上からは清水沢ダム、90度角度を変える夕張川、清陵町、そして宮前町と清栄町が一望できる。



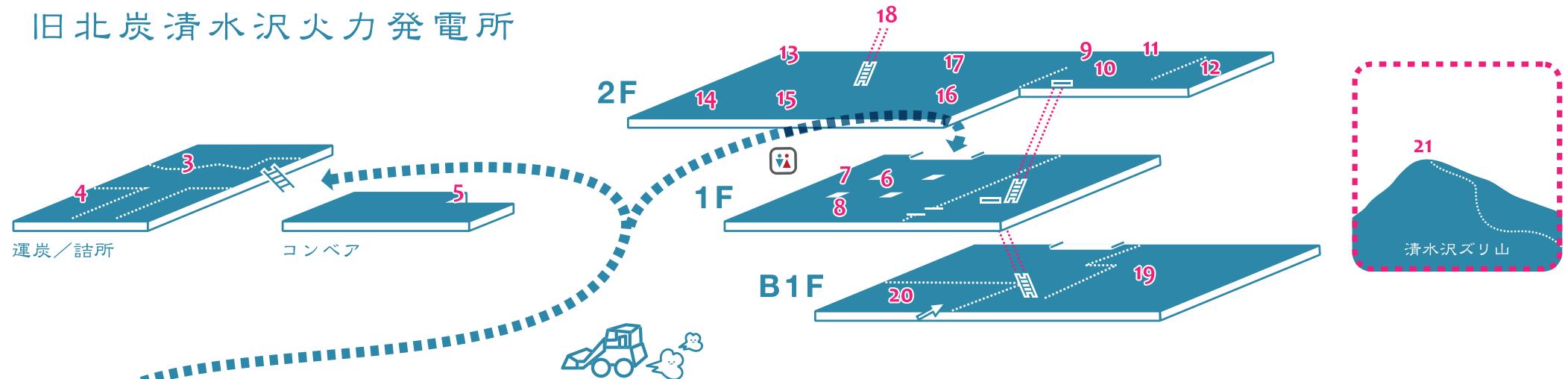
炭鉱住宅・浴場

1970(昭和45)年ごろから建設されたコンクリートブロック造りの炭鉱住宅。木造住宅の老朽化や夕張新鉱開発のために周辺の住宅を宮前町・清栄町に集約した。宮前町の鉱員住宅には浴室がないため、中心部に浴場と集会所、労務連絡所が配置された。



夕張清水沢アートプロジェクト 作品マップ

旧北炭清水沢火力発電所

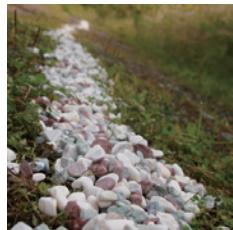


ウェルカムゲート
1
2

- | | | |
|----|---------------|-----------------|
| 1 | 還り道 | カクレボン |
| 2 | スーパー地蔵 | 上遠野 敏 |
| 3 | 日々の膜 | 萩原 拓矢 |
| 4 | 1991 | カクレボン |
| 5 | みえる | 5 9 RA 9 |
| 6 | In This World | kensyo |
| 7 | おたからなあに？ | トンツキニンと地域のこどもたち |
| 8 | 黄色い壁と黒い天使 | 上遠野 敏 |
| 9 | 白昼虫 | 堺 麻那 |
| 10 | かえるのをまちわびで | 伊藤 里菜子 |

- | | | |
|----|------------------------|--------------|
| 11 | 窓際にもういない人 | 工藤 寛子 |
| 12 | 金剛顔 | カクレボン |
| 13 | トモシビ | 富田 歩 |
| 14 | 思いだす影 | 5 9 RA 9 |
| 15 | 貯炭場と坑内員 | 上遠野 敏 |
| 16 | 無題 | 端 聰 |
| 17 | タービンローター
風神・雷神・千手観音 | 上遠野 敏 |
| 18 | 天空の虹彩 | 上遠野 敏 |
| 19 | re | 5 9 RA 9 |
| 20 | 手が届かない展 | 萩原 拓矢・千葉 絵理子 |
| 21 | 回廊 | 渡邊 俊介 |

夕張清水沢アートプロジェクト 作品紹介



1 還り道
カクレボン

現在から過去へのかえり道。



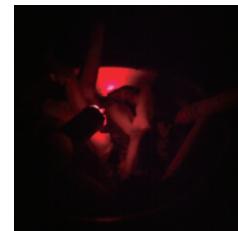
2 スーパー地蔵
上遠野 敏

日本の発展と炭鉱産業に関わるすべての人にに対する敬意と安全祈願。



3 日々の膜
萩原 拓矢

炭住に住まう人々の内(家)と外(炭鉱)を柔らかく仕切る膜。



4 1991
カクレボン

暗闇に浮かび上がる止まった時間。



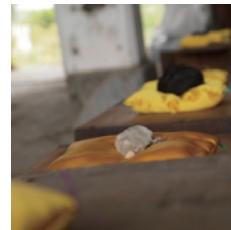
5 みえる
5 9 RA 9

大都市へ運ばれる石炭と空想都市。



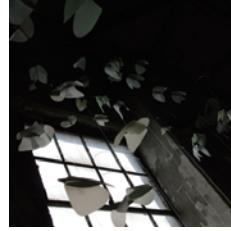
6 In This World
kensyo

強固な枠に収まる弱な存在。



7 おたからなあに?
トンツキニンと地域のこどもたち

不要物からみつけた新しく光り輝く“たからもの”。



9 白昼虫
堺 麻那

目に見えたり見えなかったりする漂うものを表す鏡。



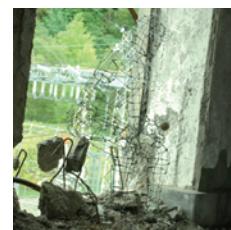
8 黄色い壁と黒い天使
上遠野 敏

倒れた産業に犠牲を強いられる人々。



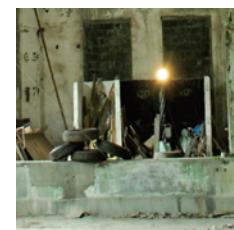
10 かえるのをまちわびて
伊藤 里菜子

空き家となった炭住がかえりを待っている。



11 窓際にもういない人
工藤 寛子

廃屋の記憶。窓際に座っていた炭鉱マンを見ることはもうない。



12 金剛顔
カクレボン

炭鉱から帰ってきた特有の黒い顔。

夕張清水沢アートプロジェクト 作品紹介



13 トモシビ
富田 歩

繁栄と衰退、そして再起。



14 思いだす影
5 9 RA 9

風、光り、白く。感じる気配。



19 re
5 9 RA 9

ねこが見つけた、石炭の中から
蘇った植物たちの物語。



20 手が届かない展
萩原 拓矢、千葉 絵理子

きらきらの彼らは手が届かない過去。



15 貯炭場と坑内員
上遠野 敏

黒く焦げた彼は、石炭の番人。



16 無題
端 聰



21 回廊
渡邊 俊介

ズリに草木が茂り、また人が戻ってくる。



17 風神・雷神・千手観音
ターピンローター
上遠野 敏

蒸気と電気、神の力。



18 天空の虹彩
上遠野 敏

帰ってくる自然。



夕張共同浴場
入浴券付 400円

ズリ山に登頂された方は受付にて
特製ぬぐいを購入することが出来ます！